



ペットと同行避難できますか？

環境省は「災害時ペットとの同行避難」を推進しています。

大事な家族の一員である皆さんのペットは、いざという時に一緒に避難できるでしょうか？

多い答え

「いざとなればどうにかなるわよ。」

「うちの子いい子だから大丈夫。」

「みんなうちの子知っているから避難所に連れて行っても大丈夫。」

本当に大丈夫ですか？

「ペットが苦手な方もいますよ。」

「その方たちにどうやって理解していただくのでしょうか？」

三浦市の避難所では、ペットとの住み分けが必須になってきます。

◎人間が過ごす避難所(室内)にはペットを入れることは出来ません。別の場所での管理になります。

◎愛犬はすべてケージ(クレート)で管理されます。

◎ケージ(クレート)に入れず繋留しておくことは、愛犬達にもストレスがかかります。

クレート、ケージなんてかわいそう！

◎いいえ、本来犬という動物は「暗くて、狭いところ」で暮らしていました。

◎クレート、ケージに入っていれば、他の犬からのトラブルも無く安心。

◎ペットが苦手な方たちも安心して過ごすことができます。



社会化訓練

◎「吠えない」「トイレトレーニング」「クレート(ケージ)トレーニング」「呼んだら来る」「飼い主さんの指示に従える」

◎狂犬病の予防接種の義務

すべては日ごろからの関わり方が、いざとなった時に、家族の一員である大事なペットを守ることが出来るのです。それは飼い主さんの安心だけではなく、愛するペットたちが安心して過ごせることなのです。

避難生活は2、3日ではありません。長期にわたって生活しなくてはなりません。

ペットが苦手な方たちからも理解を得られるためにも日ごろからの関わりをもう一度見直してみたらいかがでしょうか？

災害が発生したら緊急持出し袋を持ち、ペットと一緒にまず避難！

避難所生活が長期にわたる場合下記の物が必要になります。

1. 2～3日分のエサ
 2. 水
 3. エサ、水を入れる折り畳みの容器
 4. ウンチ袋
 5. トイレtp>ーパー
 6. 新聞紙
 7. ペットシート
 8. 名前、携帯連絡先が入った首輪：穴が有りきちんと止められるタイプ
 9. リード(フレキシブルリードは不可)丈夫で噛みきれないもの。
 10. 雑巾、タオル
 11. バスタオル
 12. Tシャツ、犬の洋服(抜け毛防止)
 13. 子供用靴下または伸び縮み靴下(足の怪我予防)
 14. ケージの上からかける布
 15. ブラシ
 16. 消臭剤
 17. ヘッドランプ
 18. 常備薬、飼育手帳(写真、特徴、ワクチンなど記入したもの)
 19. 救急薬品
 20. ケージ(積み重ねが出来る物)
 21. 防寒用の服(レインコート)
- ※緊急持出し袋に入れられない物は、安全が確保された後、家に取りに戻ります。

同行避難のためのチェック表

- 1 災害発生時、家族間の連絡方法についてあらかじめ話しあっている。
- 2 避難場所へ行くまでの経路は知っている。
- 3 飼育しているペットを連れて避難場所まで行ったことがある。
- 4 地域で行われる防災訓練に参加したことがある。
- 5 緊急持出し袋はペットの分も用意してある。
- 6 ペット用の持ち出し袋には、最低3日分のフード、飲み物、ペットシートが用意してある。
- 7 ペットと一緒に避難する避難所では、周りの人に迷惑がかからないように日ごろから考え、配慮、トレーニングしている。
- 8 迷子札、鑑札、マイクロチップなど、飼い主の連絡先が分かるものをペットは身につけるようにしている。
- 9 ペット用の飼育手帳を作成して、写真も持っている。
- 10 ワクチン接種、ノミダニ対策、健康管理を常に心がけている。
- 11 愛犬の登録、毎年の狂犬病予防接種は受けている。
- 12 ケージ、キャリーバッグの中に入って大人しくしている。
- 13 トイレのしつけが出来ている。
- 14 他の人に撫でられても、平気である。

9以上：大変よく出来ました。7以上：良く出来ました。5以上：頑張りましょう。4以下：一つでもOを増やしましょう。

資料提供協力 BOWWAN ボランティア

お問合せ先
三浦市役所防災課
046-882-1111